

## 「木造2階建住宅」課題ルーブリック評価表

図面名	矩計図	出席番号	氏名	評価尺度						
No.	評価観点	評価 A ( 点 )			評価 B ( 点 )			評価 C ( 点 )		
1	下書き線・基準線・基準記号	下書き線を極細線で正確に作図した上に、基準記号、基準線（一点鎖線）を細線で丁寧に作図できている。			下書き線を極細線で正確に作図されていなかったり、基準記号、基準線が不正確、丁寧に欠ける箇所がある。			下書き線が太く目立っている。基準記号、基準線も丁寧に作図できていない。		
2	屋根・小屋・天井まわり	断面線（極太線）と姿線（細線）を使い分けながら正確かつ丁寧に作図できている。			断面線（極太線）と姿線（細線）の使い分けが不正確で、丁寧に欠ける箇所がある。			断面線（極太線）と姿線（細線）の使い分けが不正確で、丁寧に欠ける。		
3	壁・開口部まわり	断面線（極太線）と姿線（細線）を使い分けながら正確かつ丁寧に作図できている。			断面線（極太線）と姿線（細線）の使い分けが不正確で、丁寧に欠ける箇所がある。			断面線（極太線）と姿線（細線）の使い分けが不正確で、丁寧に欠ける。		
4	2階床・1階天井まわり	断面線（極太線）と姿線（細線）を使い分けながら正確かつ丁寧に作図できている。			断面線（極太線）と姿線（細線）の使い分けが不正確で、丁寧に欠ける箇所がある。			断面線（極太線）と姿線（細線）の使い分けが不正確で、丁寧に欠ける。		
5	1階床・基礎まわり	断面線（極太線）と姿線（細線）を使い分けながら正確かつ丁寧に作図できている。			断面線（極太線）と姿線（細線）の使い分けが不正確で、丁寧に欠ける箇所がある。			断面線（極太線）と姿線（細線）の使い分けが不正確で、丁寧に欠ける。		
6	説明文・寸法・室名	引出線、寸法等の線の使い分けや、文字が均一な大きさと正確かつ丁寧にわかりやすい記載になっている。			引出線、寸法等の線の使い分けや、文字が均一な大きさと正確かつ丁寧にわかりやすい記載になっていない箇所がある。			引出線、寸法等の線の使い分けや、文字が均一な大きさと正確かつ丁寧にわかりやすい記載になっていない。		
7	課題全体の完成度	全体のレイアウトが良く、用紙の汚れもなく、紙面全体が美しく仕上げられている。			全体のレイアウトが片方に寄っていたり、部分的に汚れており、美しさへの配慮が不足している。			全体のレイアウトが悪く、用紙の汚れが目立ち、美しさへの配慮が明らかに欠けている。		
小計										
備考							合計			